

写真館



大満足の「のぼうの城 フェスティバル2013」

3月10日、産業文化会館で戦国武将隊イベント「のぼうの城フェスティバル2013」が開催されました。

このイベントに忍城おもてなし甲冑隊、奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊、あいち戦国姫隊が集結。武将隊の皆さんは、華麗な演舞を披露したり、地元をPRするトークショーを行ったりしました。

また、特別ゲストとして参加した「よしもと剣喜劇」が、ユーモア溢れる演技を披露すると、観客は大爆笑。舞台終了後には写真撮影会も行われ、観客の皆さんは、内容が盛りだくさんのイベントを大いに満喫している様子でした。



手作りの良さを実感

2月23日・24日、牧楨舎で、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク主催の「アーツ&クラフツinぎょうだ」が開催されました。

工場内には16の展示販売ブースが設けられ、作家が丹精込めて作った木工品やアクセサリなどの作品がずらり。母屋には、作品鑑賞をしながら休憩できる縁側カフェも設置されました。レトロな空間で、改めて「手作り」の良さを味わうことができた2日間でした。



さきたま古墳公園でおもてなし

3月16日、さきたま史跡の博物館東側に、観光客の「おもてなし」を行う観光情報提供場所がオープンしました。

本市のパンフレットが手に入るほか、市内の土産品などを買うことができるとあって、さきたま古墳公園を訪れた誰もが興味津々な様子で足を止めていました。

なお、この情報提供場所での「おもてなし」は、土・日曜日、祝日の午前10時から午後3時まで行っています。5月26日までの期間限定となっていますので、同公園を訪れた際には、ぜひお立ち寄りください。





おいしい農産物をありがとう

2月19日、西小学校で学校給食交流会が行われました。この交流会は、地産地消活動の一環で行われているもので、学校給食に農産物を提供している生産者、児童、保護者(PTA)が給食を一緒に食べながら、食や農産物についての意見交換を行いました。また、生産者の声を直接聞くことができるので、日ごろ食べている食材への安心感を深めることもできます。

この日の献立は、行田産のハクサイを使用した「ハクサイのクリーム煮」など。児童たちは生産者らと話をしながら、おいしそうに食べていました。



「笑い」に癒される

2月16日、「みらい」文化ホールで笑い与健康講演会「笑う門には福来たる」が開催されました。

第1部は、行田中央総合病院院長の川島治さんによる講演が行われ、「笑い」はストレスを発散させるだけでなく、体の免疫力もアップさせることなどを分かりやすく説明しました。第2部では、柳家小団治さんによる落語が披露され、行田の名所を交えたユーモア溢れる語りに、会場は笑いの渦に包まれ、訪れた誰もが笑いに癒されていました。



また会おうね!

2月18日、利根大堰で(独)水資源機構利根導水総合事業所主催の「サケ稚魚放流会」が行われ、中央小学校2年生の児童たちが利根川にサケの稚魚を放流しました。

今回放流した稚魚は、児童たちが約2カ月間、卵から愛情を込めて育てたもので、中学生になるころに戻ってくるそうです。数年後の再会を約束して「元気に戻ってきてね」と語り掛けていました。



楽しいひとときを過ごしたよ♪

3月9日、立正大学生による人形劇「ふれあい人形劇」が児童センターで開催され、たくさんの親子連れが訪れました。

「たっくんとかさぶた」「うさぎとかめ」などかわいい人形劇が披露され、子供たちは夢中になって見ていました。また、休憩時には、同大学の優しいお兄さん・お姉さんと触れ合うなど、楽しいひとときを過ごしていました。